

平成30年度 東京都立竹台高等学校 学校経営計画

東京都立竹台高等学校長
八百板 真弓

<p>目指す学校像</p>	<p>本校の校訓 「共に学び 共に進む」 本校の教育目標 ① 人間性豊かで、互いの人格を尊重し、社会の発展に貢献できる人材を育成する。 ② 人権尊重の理念を基盤に、生徒が高い「規範意識」をもち、「感謝・礼儀・思いやり」を励行する。 ③ 確かな学力を向上させ、自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間を育てる。 ④ 特別活動、部活動の振興を通して、生徒の心身を鍛える。 ⑤ 生命尊重と安全を常に心がける人間を育てる。 教育目標を実現し、変化の激しいこれからの社会を生き抜く、知・徳・体のバランスのとれた人間を育成する学校を目指す。</p>			
<p>中期的目標と方策</p>	<p>普通科中堅校として、多様な生徒の学力向上及び進路実現に向けて、進学指導体制の改善を図り、生徒の学力に応じた指導体制を強化する。生徒及び保護者の満足度の高い学校づくりを推進し、地域との連携を強化し、地域から信頼される、地域に貢献する人間を育成する。 なお、効率的な職務遂行、メリハリを付けた働き方等により、ライフ・ワーク・バランスを一層推進する。</p>			
<p>各組織</p>	<p>今年度の取組目標と方策</p>	<p>今年度の重点目標</p>	<p>関連する数値目標 (29年度実績)</p>	
<p>学校全体</p>	<p>組織的学校の推進 PDCAサイクルに基づくマネジメントシステム カリキュラム・マネジメント 「チーム竹台」 学び続け、協働する教職員。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 企画調整会議 戦略検討。 主幹会議 主幹教諭4名の連携・協力、学校改革牽引。 教科主任会議定例開催。 主幹教諭、主任教諭13名によるミドルマネジメント。 教職員の積極的な情報発信。 新教育課程編成、大学入学共通テストへの対応検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有化 臨時職員打合せ開催。記録、資料等の即時回覧。報告・連絡・相談の徹底。 引継(資料)の改善 ネットワーク職員室フォルダの整理、活用。 電子起案の推進 分掌、学年、教科間の連携強化。 	<ul style="list-style-type: none"> 主幹会議 (金)6限 新規 教科主任会議月1回 新規
<p>系統的なキャリア教育の推進</p>	<p>進路指導部が方針を立て、主導し、学年・教科と連携・協力して取組を充実、強化する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒情報の共有化 一人一人の生徒の学習状況把握(入学から卒業までの推移データの整備・活用)ときめ細やかな対応。 上級学校説明会等への積極的参加、情報収集・活用。 ガイダンス、個別相談の充実。 同窓会(さつき会)との連携、講演会等の充実。 「都立高校生のための社会的・職業的自立支援教育プログラム事業」の活用。 	<ul style="list-style-type: none"> 拡大会年の充実 成績処理ファイルの活用 模試の結果分析会 目線合せの実施 第一志望の早期明確化 面談、三者面談の充実 FINE SYSTEM 活用による個別指導 classi 導入、活用(1学年)。 大学入試センター試験問題の分析、活用。 	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援教育プログラムの活用 1 学年 NPO 法人鴻鵠塾等との連携(29年度1回) 2 学年(一社)専門学校コンソリアム Tokyo 等との連携(29年度1回) 同窓会との連携 3 学年キャリア講演会(1回)(29年度1回) 2 学年キャリア講座(2回)(29年度3回) 1 学年 OBOG 課外授業(1回)(29年度1回)
<p>【人権尊重教育推進校】 人権教育推進委員会を核として推進する。</p>	<p>人権課題について、理解し、考え、差別をしない/させない。</p>	<p>生徒の関心を高め、身近な問題として人権課題について考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人権講演会 人権教育講座(学年別) 人権研究発表会 11/20 	
<p>生徒・保護者・地域から信頼される教職員 教育公務員としての高い使命感・倫理観、服務規律の遵守。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 服務規律の徹底 校内規定の整備 情報資産の管理の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の保護、管理の徹底。 クリーンデスクの励行 「4S」(整理・整頓・清掃・清潔)の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 服務事故防止研修 4回(29年度4回) 服務事故ゼロの継続 	
<p>地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域に開かれた学校づくり 地域の公共機関との連携による生徒の健全育成 	<ul style="list-style-type: none"> 都立学校開放事業実施 小・中学校等との連携。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設開放 18 団体 49 日 公開講座 5 回 15 時間 部活動交流 2 回 	
<p>計画的、組織的な人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> OJT、校内研修の充実 【人権尊重教育推進校】 教員の授業力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修の充実 人権学習会 生徒による授業評価 	<ul style="list-style-type: none"> 人権学習会 フィールドワーク実施 新規 研究授業・研究協議 	

			<p>【AL 推進校】教員相互の授業参観、先進校視察</p> <p>【明海大学との「教育連携に関する協定」締結校】</p> <p>JSL (Japanese as a Second Language) の日本語指導</p>	<p>アンケート集計結果分析報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・AL の視点からの授業改善 ICT の活用 ・授業公開週間(4 月)、授業公開(11 月)の活用。 ・「人権」第 4 集、人権リーフレット作成。 ・紀要第 2 号発行 	<p>各教科 1 回(29 年度研究授業 6 教科 25 回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業見学 年間 4 時間以上、「この授業見よう」 ・東部レインボウ参加 ・指導教諭の模範授業参観 各教科 1 回以上
	ライフ・ワーク・バランスの推進	教員の意識改革 職場風土の醸成の推進	マイ定時退庁日設定 20 時完全退勤日設定	・週当たり在校時間が 60 時間を超える教員ゼロ	
	募集・広報活動の充実 総務部が方針を立て、主導し、全校連携・協力して取組を充実、強化する。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の特色のより一層の明確化 ・入学者選抜の評価・検証及び改善 ・情報発信の工夫・改善(「学校案内」の刷新、ホームページの充実、適時適切な更新)。 ・家庭・地域等の本校に対する要望の把握及び対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員による近隣中学校訪問の充実 ・夏季休業日学校見学日直対応平日毎日実施 ・合同説明会等外部会場への一人 1 回以上参加。 ・中学校訪問一人 3 校、塾訪問一人 3 塾以上。 ・学校説明会、個別相談会の充実 ・中学校との連携強化 ・新入生対象入学アンケート調査実施。本校に対するイメージの把握、次年度募集対策への活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校訪問 126 校(29 年度 119 校) ・塾訪問数 126 塾以上(29 年度 57 塾) ・中進対 1.0 倍以上(29 年度 0.64 倍) ●入学者選抜分割前期最終応募倍率 1.3 倍(29 年度 0.96 倍) ・入試対策講座 5 教科 2 回(29 年度新規 2 回) ・文化祭来校者数 1150 名以上(29 年度 1136 名) ・ホームページ更新 200 回以上(29 年度 202 回) 	
	教育環境の改善・充実 校舎改築及び創立 80 周年準備	・中長期的な教育環境の改善、地域の期待に応える学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・体育館(武道場)解体、グラウンドと併せ範囲とする新校舎建設工事対応 ・制服の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・代替施設借用 荒川区立諏訪台中学校第 2 グラウンド、荒川区立生涯学習センター等 	
教科	<p>人間力の向上</p> <p>学力向上</p> <p>【アクティブ・ラーニング推進校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科を中心とした組織的な取組(全教員の AL 型授業の導入) ・AL 型授業の指導法、授業形態の開発と教員のスキル向上 ・AL 型授業を通じた生徒の学びの変容、深化 <p>体力向上</p> <p>【パワーアップハイスクール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意識の涵養 ・理論的説明 ・実践的指導(ダブルダッチ等) <ul style="list-style-type: none"> ・振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力スタンダードに基づく指導 組織的・効果的な指導 ・教科会(月 2 回)の充実 【自主学习時間の伸長】 ・土曜講習、土曜学習室の充実。 ・読書活動の推進、言語活動の充実。 ・ICT 機器等を活用した効果的な教科指導の工夫 ・英語教育の改善・充実-JET、ALT の活用- ・オリンピック・パラリンピック教育の推進 5 つの資質の育成(全教科合計、年 35 単位時間) ・主権者教育の推進(地歴・公民科等) ・体力・運動能力の向上 体力テスト(5 月)実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査、結果分析、追指導による学力の確実な定着。 ・AL の研究と実践。 生徒に課題意識をもたせる。生徒相互の学び合い(教え合い)を実現する。教員はアセスに係る問い、振り返りを工夫する。問題に気付かせ、解決策への取組につなげる。認知。 ・【授業のポイント】授業スキル(伝達、生徒の状況把握)、授業デザイン(学習目標の明確化、課題解決を通じたアウトプット)、学習成果(学力・技能の向上感)や負荷の感じ取り方。 ・学年との連携 課題提出の徹底 手帳導入によるタイム・マネジメント指導、支援。 ・読書の全校的、継続的奨励。 ・スピーチ、ディベート等の奨励。 ・世界ともだちプロジェクト(グループ 12)交流。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査得点 55%以上 ・AL 型授業を行う教員 80% ・全教科における指導方法、教材の蓄積と見える化(紀要)。 ・土曜講習 1 学年 20 回、2 学年 10 回、3 学年 14 回参加延 1000 名以上、土曜学習室 15 回参加延 80 名以上(29 年度土曜講習 1 学年 9 回延 558 名、2 学年 5 回延 11 名、3 学年 25 回延 120 名、土曜学習室 14 回延 80 名) ・本校図書館の貸出冊数 3300 冊以上(29 年度 2805 冊) ・不読率 22.3%未満(28 年度 21.5%) ・資格取得 語彙・読解力検定 3 級全員受検、合格 50% 英検、漢検の準 2 級レベル以上合格 25 名以上(29 年度英検 13 名、漢検 9 名) 	

			<ul style="list-style-type: none"> ・体力テスト事前指導徹底 全学年都平均を上回る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「アクティブプラン to 2020」 目標値達成
学年	在り方生き方を考えさせる 基礎的・汎用的能力の育成 自己実現に向けての指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームルーム活動、総合的な学習の時間等を通じて、在り方生き方を考えさせるとともに、「基礎的・汎用的能力」を身に付ける意義を繰り返し理解させる。 ・週末課題 ・小論文指導 ・分野別指導(1、3学年)、志望理由書作成指導(3学年)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学年モチベーションの充実(高校における学習内容・学習方法、自主学習の重要性等の確認) ・朝学習、放課後講習。 ・自習室開設、活用促進。 ・残勉(定期考査前学校で学習) ・「人間と社会」の計画、実施(2学年)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自習室開室135日以上 ・拡大学年會1、2学期各1回。 ・TGG(TOKYO GLOBAL GATEWAY)における学習(1学年1/11)
教務部	人間力の向上 学習習慣の確立ー自主学習時間の伸長ー 生徒一人一人の「確かな学力」の定着と伸長 方針を立て、主導し、学年、教科と連携・協力して取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習と生活の時間の自己管理(記録)指導 ・定期的な自主学習時間調査 ・生徒による授業評価アンケートの実施及び結果分析年2回 ・長期休業日中の講習、補習 ・教育課程の評価・検証・改善 ・授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主学習時間調査(各定期考査)実施、集計、結果分析、フィードバック。 ・生徒による授業評価アンケート(7月、12月)実施。 ・長期休業日中の組織的な講習、補習の計画、実施、振り返り。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自主学習時間1日1時間以上70% ●生徒による授業評価アンケート(肯定的評価)75%(29年度1学年71%、2学年58%、3学年70%) ・長期休業日中の講習延べ400時間以上、参加延1000名以上。(29年度36講座437時間参加延972名)
生活指導部	人間力の向上 規範意識の向上 生活指導指針に基づく指導 方針を立て、主導し、学年、教科と連携・協力して取り組む。 安全教育の推進(生活安全、交通安全) 自信と誇りの持てる学校(PRIDE&BRAND) 自治意識、帰属意識の向上 豊かな人間性の育成 安全・安心な学校 心身の健康づくりの推進 いじめの総合対策に基づいた対応	<ul style="list-style-type: none"> ・「身に付けさせる規律・規範の全体計画」に基づいて、遅刻防止、服装・身だしなみ指導の徹底を図る。 ・挨拶の励行、マナー尊重の精神の育成。 ・朝、昼休みの正門等における指導(授業時巡回)を全教員当番制で行う。 ・セーフティ教室、薬物乱用防止教室の充実(危険ドラッグ等)。 ・情報モラル教育の推進 ・部活動、生徒会活動及び学校行事の充実・振興。 ・体罰禁止・根絶 ・定期的な部活動調査(部員数、活動状況、活動の成果等) ・地域行事への積極的参加 ・自殺対策に資する教育の推進 ・(保健)健康づくりの推進 アレルギー疾患対策 ・(美化)校内・外の環境美化とリサイクル意識の育成 ・不登校・中途退学の防止 ・いじめの未然防止、早期発見・早期対応 「いじめ対策委員会」を核とした取組を行う。アンケートを年間3回以上実施する。 教育相談体制の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動目標:5分前集合遅刻をしない/させない。チャムとともに授業開始。時間を守らせる。「遅刻0(ゼロ)週間」から遅刻0(ゼロ)習慣へ遅刻のデータ集計、報告。 ・行動目標:挨拶の充実、自転車安全走行指導。代わ使用、雨天時傘差し厳禁の徹底。 ・SNS 竹台高校ルール徹底 ・全教員の組織的な取組による部活動指導強化 部活動顧問による部員の学習、生活指導への積極的な関与。 ・部活動の活性化 ・部活動生徒等を核とした奉仕的活動の充実、地域との連携の深化。 ・校歌指導の強化 ・命の大切さを実感させる、様々な困難・ストレスへの対処方法を身に付けさせる(SOSの出し方等)、心の健康の保持に係る教育を行う。 ・学校医等との連携強化 エビペン使用の研修等 ・ゴミ分別の指導の徹底 環境委員による点検、取組のよいウラスを顕彰。 ・スクールカウンセラー等との連携による相談しやすい学 	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻者 7%以下(29年度年間延14219回、12.3%) ●学校評価アンケート(きまりを守ることや良識を育てるような教育)(地域の否定的評価)30%未満(29年度否定的評価47%、分からない20%) ・服装・身だしなみ指導の徹底(ピアス、女子制服スカート丈改造厳禁、化粧禁止等) ●1学年生徒部活動加入率70%(29年度67.1%) ・部活動定着率80%以上(29年度1学年79.1%) ・体罰ゼロ

				校づくり 1 学年生徒全員面接	
進路指導部	生徒一人一人に応じた適切な進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・第一志望の実現 ・進路情報の提供 ・望ましい勤労観・職業観の育成 ・インターンシップの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・進学、就職希望者に対するきめ細かな指導。 ・進路の手引きの充実 ・進路日より定期的発行 ・1 学年進路希望、2、3 学年第一志望の明確化 1 学年末までに 85%、2 学年末までに 90%、3 学年 1 学期末までに 95%。 ・進路変更の減少 ・大学一般受験の奨励、増加。 ・理科系進学指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●4 年制大学進学率 42% (29 年度 81 名、41.8%) ●日東駒専以上現役合格 15 名 (29 年度 12 名) ・国公立大学 1 名合格 (29 年度 0 名) ・就職内定率 100% (29 年度 100%) ・進路未決定者 10%未満 (29 年度 12.9%) 	
総務部	<p>安全教育の推進(災害安全)</p> <p>【関係機関と連携した防災教育実施校】</p> <p>上級救命講習受講</p> <p>社会貢献の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育の推進 「自助」「共助」の精神に基づいて適切に行動できるようにさせる。 ・奉仕体験活動の推進 「人間と社会」の活用 ・PTA との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した防災教育の推進 ・防災活動支援隊の活動の充実 ・「防災ハート」の活用 ・地域の資源、教育力を生かした奉仕の実施。 	上級救命講習 2 学年 3/18	
経営企画室	<p>適正な予算執行と更なる経営参画</p> <p>教育環境の更なる整備、充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎内外の安全な環境整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の「顔」としての役割、電話対応や接遇の改善、充実。 ・自律経営推進予算の適正な編成、執行。 ・施設・設備の定期点検、教育環境の整備。 	センター執行の増加、予算の有効活用。	